科目名	PBL-X：企業社会論Ｂ ［総合教養科目（企業社会論B）］
担当	鶴田 宏樹
曜日・時限	水5
教室	鶴甲第１キャンパスK301
授業のテーマ	「企業社会論B ― 21世紀の教養」 （学問の入り口に立って何をするべきか） 皆さんは大学に入学し共通教育の授業を受け、そして専門分野についての学びの入り口に立っています。自らの興味・関心に基づいて学びたいことを考え、さまざまな授業を受けていることと思います。いずれ皆さんは高度な知識を身につけて社会へ飛び立って行きます。このことは社会にとってどんな意義があるのでしょうか。現代社会は不確実性の高い社会と言われ、過去の延長線上での予測・予見が困難です。未来を予測するのではなく、望むべき未来をイメージし、バックキャスティング思考で今なすべきことを考えることが求められています。そして、その結果を「イノベーション」というのではないでしょうか。様々な解釈がある「イノベーション」ですが、2016年の日本政府が策定した第4期科学技術基本計画では、「科学技術イノベーション」とは「科学的な発見や発明などによる新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらを発展させて経済的・社会的・公共的価値の創造に結びつける革新」とされています。学生が大学で学んだ新たな知識を基に社会で価値を創造し、それを拡めていくことは、未来社会の構築の一助となります。皆さんの興味と関心が起点となって未来の社会が創られるのです。ですから、在学中に自らが持つ興味・関心を捉え、学ぶことと向き合う機会をもってほしいと考えています。 本授業では、未来社会を構築して、発展させる原動力となる「学問」を知るために、本講義では、①自らを内省し、②必要な情報を集め、③自らの興味・関心を表現し、④他者の意見に傾聴する力をグループディスカッション形式で学びます。
授業の到達目標	以下の5項目を身につけることを目標とします。 · 学問を理解し、学ぶ理由を考える力 · 情報・知識を収集する力（検索する力と情報提供者とのコミュケーション能力） · 情報の分析・評価する能力 · 学問に対する興味・関心を表現する力 · 他者の学問に対する意見・価値観を傾聴する力

授業の概要と計画	関連授業である「企業社会論A」では、社会にインパクトを与えている企業で中心的な役割を担っている方々に、大学において学んだこと、学ばなかったことなどを話してもらい、現在社会おける企業の役割と社会に影響を与える学問について議論を行内容になっています。その内容を受けて、本授業では、学問の入り口に立っている学生自らの興味・関心の顕在化、これからの大学での学びに必要な情報の取得・評価についての技法、そして、他者の考えへの傾聴・共感する力を学ぶことによって、今後の学問へ向かい合う姿勢を体得します。 〇授業内容（内容は変更することがあります） ●イントロダクション：これまでの授業の沿革と焦点について ●学問とは何かを考える ●「知らないこと」を考える ●大学で学びと社会（企業社会）における意義を考える ●これから履修する授業を考える 受講希望の学生は、9/18正午までに、鶴田（tsuruta@kobe-u.ac.jp）に、 件名：2024企業社会論B受講希望 内容：学籍番号、氏名、メールアドレス等 を送付してください。 受講者の上限は40名程度とします。 大幅に超えた場合には、エントリーシートの提出による選抜を行うことがあります。
成績評価方法	出席、提出レポートの内容評価、授業中のディスカッション参加状況により総合的に評価します。
成績評価基準	出席（40点）、提出レポートの内容評価（40点）、授業中のディスカッション参加状況（20点）、により総合的に評価します。
履修上の注意（関連科目情報）	この授業の定員は約40名です。 履修希望者が定員を超えた場合は、「受講エントリーシート」により選考する可能性があります。 ディスカッション形式の演習を含むため基本的に全回出席できる学生が対象です。 この授業の関連科目は、 第2Q開講の「企業社会論A」、第2Q開講の「Creative School基礎編」、第3Q～4Q開講の「Creative School応用編」です。この授業はイノベーション教育およびキャリア教育のプログラムとして位置づけられており、1年次学生を対象としていますが、2年次以上も履修できます。 この授業では、遅刻、途中入場・途中退室は厳禁です。 受講希望の学生は、9月27日17時までに、鶴田（tsuruta@kobe-u.ac.jp）に、 件名：2024企業社会論B受講希望 内容：学籍番号、氏名、メールアドレス を送付してください。 受講者の上限は40名程度とします。 大幅に超えた場合には、エントリーシートの提出による選抜を行うことがあります。 なお、学部生で総合教養科目としての単位認定を希望する場合は、メールの文章中に「**単位認定希望（V.School生）**」と記入してください。また、総合教養科目としての単位認定が不要で、V.Schoolとしての受講認定のみを希望する場合は「**単位認定不要（V.School受講認定のみ希望）**」と記入してください。大学院生の場合は、「**大学院生（V.School生）**」と記入してください。 受講が認められた場合は、**V.SchoolＨＰからの受講登録**も行ってください。
事前・事後学修	特になし。

オフィスアワー・連絡先	鶴田宏樹（つるた ひろき） 自然科学3号館４階415室 Tel: 078-803-5946 mail: tsuruta[at]kobe-u.ac.jp 祇園景子（ぎおん けいこ） 工学部 2W-204 mail: kgion[at]port.kobe-u.ac.jp
学生へのメッセージ	（教員からのメッセージ） 未来社会を創造する次の担い手は皆さんです。未来を切り拓くために、教養を身につけ、新しい価値の創造を実現するためには、今まで自分がやってきたことの意味と意義を知ること、今自分がやっていることはどのような結果を生むのか、そして今後自分がやるべきことを望むべき未来からバックキャスティング思考で導き出してみること、さらにそれらに精一杯真摯に取り組むことが重要です。本授業で学ぶことは未来社会を生きるために必要なほんの一部分に過ぎないかもしれませんが、学生同士・教員とのコミュニケーションを通じて、自分の夢と志、そして自分の可能性について新たな発見ができると思います。人生の選択肢の幅を広げ、有意義な学生生活を送るために、この授業を活用してください。
今年度の工夫	受講生が議論や討論を円滑に進めることができるように、教員とTAがファシリテートします。議論・討論を通じて論理的思考を身につけることを目指します。メッセージの重点の確認、Ｑ＆Ａセッションにおける双方向性コミュニケーションの促進に留意しています。
教科書	授業当日にプリントを配付します。
参考書・参考資料等	適宜授業中に紹介します。
キーワード	学問 傾聴力 論理的思考